| H28 | 職域防犯協会運営補助事業

事業コード

·									1276
	基本施策	基本目標	属性		基本	施策	実施	- 施策	
総合計	体系	安全・安心で快適に暮らせ 防るまちづくり			防犯力を強化		地域防犯力の		<u>3031</u>
画体系	重点施策 体系								
	部署名	防災危機管理課		開始年	度 ()	終了年度	9999		
Р	目的	行政や警察、関係機関と連携し の推進を図る。	で防犯活動を行う	団体の	舌動助成を通し	して、市民が多	安全で安心な暮	らしができる	まちづくり
.」42(計画)	概要	①事業所における防犯活動の実施	施、②他の団体と	:連携し7	たパトロ <i>ールの</i>)実施、③防剂	Dに関するチラ	シの作成およ	び啓発
	法令 根拠								
	実施形態	現在 補助金等交付 職域防犯協会に補助金を交付							
	活動指標								
		指標名	単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28 (2016)
	※設定困	難		目標値					
				実績値					
	成果指標							I.	I.
	八木 田 宗		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28(2016)
	活動回数	*****	亘	目標値	17	17	17	17	17
D				実績値	20	23	19	14	
0	計算犯罪	尾の抑止にはパトロールが必要である 7	こめ 。	達成率	117.6	135. 3	111.8	82. 4	
DO(実施)	根拠			(%) ランク	Α	Α	Α	В	
)他)				実数値					
	タイプ経費			業臨時	規職員 () 時・嘱託 所要時間	0. 002			
		H25(2013) H26(2014)	H27(2015)	H28(<u> </u>	浦 助 全 笔 夕 称		

予算額 決算額

90

90

90

90

90

	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分にありますか。	市民の生命と生活を守るために、防犯活動を継続的に行っている団体に助成する 也必要がある。
	性	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 はい	独自の財源を持ち、市民の生命と生活を守るために防犯活動をしているが、団体 の円滑な運営のために、市が補助金を支出することは、ある程度必要である。 拠
		【競合】 国、県、または民間のサービスと競合している事業はないですか。	主体 【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃止は可能ですか。
C		ない	根 拠
OTMOK(評価	効率·効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。	所管課
計価)		たい	根拠
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 ない	補助金交付申請を受け付け、検査検収を行い、支出するという事務のみであり、 補助金以外は予算化されていない。 拠
	有	【財源確保】 今以上に、財源を確保する方法はありますか。 なし	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。 根 拠
	姓	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる余地はありますか。 ない	補助金の交付目的に沿って適正に活動している。 根 拠
	[3	平成28年度 取組み】	維持 【平成29年度 方向性】 維持
ACHIOZ	平成28年度取組み		下の団体に補助金を交付す 防犯活動を継続的に行っている団体に補助金を交付する。
	【H2	8提案型市民主役オープン	事業実施】 不可能

-						
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

防犯連絡所協議会運営補助事業 事業コード 1277 基本施策 体系 基本日標 基本施策 実施施策 総合計画体系 安全・安心で快適に暮らせ るまちづくり 防犯力を強化する 地域防犯力の強化 <u>3031</u> 重点施策 体系 部署名 開始年度 終了年度 防災危機管理課 9999 0 行政や警察、関係機関と連携して防犯活動を行う団体の活動助成を通して、市民が安全で安心な暮らしができるまちづくり の推進を図る。 目的 PLAN 概要 ①薬物乱用防止と防犯意識の高揚促進、②警察の活動への協力、③防犯パトロールの実施 :(計 画 補助金等交付 鯖江地区防犯連絡所協議会に補助金を交付 内容 活動指標 指標名 単位 年度 H24(2012) H25(2013) H26(2014) H27(2015) H28(2016) ※設定困難 目標値 実績値 成果指標 指標名 単位 年度 H24(2012) H25(2013) H26(2014) H27(2015) H28(2016) 地域安全広報啓発活動等の諸事業活動 目標値 実績値 13 13 11 11 00(実施 計算 根拠 市民の自主的な防犯活動を図るための広報・啓発活動であ るため。 達成率 260 260 220 220 (%) ランク Α Α Α Α 実数値 事 正規職員 臨時·嘱託 ※所事 会計 ·般会計 0.002 タイプ 事業タイプ 臨時·嘱託 単独事業

※所要時間

180

H28(2016)

0 【単位:千円】

H29(2017)

補助金等名称

経費区分

区分

予算額

決算額

補助費等

H25(2013)

180

180

H26 (2014)

180

180

H27(2015)

180

	必要	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 ある	根拠	必要がある。				りに行っている団体に助成する
	性	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 はい	根拠	独自の財源を の円滑な運営	持ち、it のために	「民の生命と生活を 「、市が補助金をう	を守るために 支出すること	に防犯活動をしているが、団体 とは、ある程度必要である。
		【競合】 国、県、または民間のサービスと競合している事業はないですか。	主体 事業	名 名				【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。
င္မ		ない	根拠					
エMOK(評価	効率·効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。	所管 事業					【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。
計価)		ない	根拠					
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 ない	根拠	輔助金交付申 輔助金以外は	請を受け 予算化さ	付け、検査検収を れていない。	を行い、支む	出するという事務のみであり、
	有効	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 なし	根拠	国・県等から	の補助金	制度もなく、受益	益者負担金	を徴すべき事業ではないため。
	· 効性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 ない	根拠	補助金の交付	目的に沿	つて適正に活動し	している。	
	[:	平成28年度 取組み】		維持		【平成29年度	方向性】	維持
ZOHHOZ	平成28年度取	防犯活動を継続的に行って\ る。	いる団	体に補助金を	≥交付す	防犯活動を約 平成29年 度 計	継続的に行	っている団体に補助金を交付す
	取組み					計画		
	[H2	28提案型市民主役オープン	事業写	実施】	不可能			
	年月	度 H24(2012) H25(2013)	H	26(2014) H	H27(2015) H28(2016)	H29(2017)
取	組i	選択 不可能 不可能		不可能	不可能	不可能	不可能	

H27事業名 防犯連絡所協議会運営補助事業

未実施

実施状況

未実施

未実施

未実施

未実施

事業コード

7	未有										1278
465	基本施策	基本目	標	属性			基本	施策	実施	施策	1
松合計	体系	安全・安心で快 るまちづくり	適に暮らせ 防狐]		防犯力を	強化	する	地域防犯力σ	強化	3031
総合計画体系	重点施策 体系										
	部署名	防災危機管理	理課		開始年	度	0	終了年	9999	7	
P	目的	行政や警察、関係 暮らしができる。	系機関が連携し防 まちづくりの推進	5犯活動を行う場 進を図る。	表力追放 無	青江市民会	会議に	補助金を交	付することによ	り、市民が安	全で安心な
.LAZ(計画	概要	①暴力追放運動0	つ推進、②暴力追	自放グッズの配布	6・啓発						
	法令 根拠										
	実施形態		:等交付 市民会議に補助:	金を交付							
		内容									
	活動指標	指標名		単位	年度	H24(20	112)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28(2016)
	※設定困			+12	目標値	1124(20	12/	1120(2010)	1120(2014)	1127 (2010)	1120(2010)
					実績値						
	成果指標									<u> </u>	<u> </u>
	八木111末	指標名		単位	年度	H24(20	12)	H25(2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28(2016)
	防犯啓発[可数		田	目標値	4		4	4	4	4
D					実績値	6		5	5	4	
DO(実施)	計算 暴力 根拠 揚を	ɪ団によるあらゆる纂 ∙行うため。	人行為を追放する	ための意識の高	達成率 (%)	150)	125	125	100	
天施	12.2	.,,,,,,			ランク	Α		Α	Α	Α	
					実数値	6/4		5/4	5/4	4/4	
	タイプ 経費ロ				業臨	現職員 寺・嘱託 所要時間	0	0			
							【単	位:千円】			
	事業予算額	H25 (2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28(2		H29	(2017)	補助金等名称		
	事業 予算名 決算名		200 200	200 200		200					
		=			•						

	必要	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 ある	根 暴力団によるあらゆる暴力行為を追放するため、市民が一体となって暴力団の資金源の遮断等、その存立基盤の除去を図る活動を行っている団体に助成する必要がある。
	要性	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 はい	暴力団によるあらゆる暴力行為を追放するため、市民が一体となって暴力団の資 金源の遮断等、その存立基盤の除去を図る防犯活動をしているが、団体の円滑な 連営のために、市が補助金を支出することは、ある程度必要である。
		【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。	主体 【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃止は可能ですか。
CI		ない	根拠
ロエMOK(評価	効率·効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。	所管課 【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。
評価)	果	ない	
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 ない	補助金交付申請を受け付け、検査検収を行い、支出するという事務のみであり、 補助金以外は予算化されていない。 拠
	有効	【財源確保】 今以上に、財源を確保する方法はありますか。 なし	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。 根 拠
	效性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 ない	補助金の交付目的の沿って適正に活動している。 根 拠
	[:	平成28年度 取組み】	維持 【平成29年度 方向性】 維持
ACHIOZ	平成28年度取組み		図るとともに、暴力団に 市民の暴力排除の意識高揚を図るとともに、暴力団に
	[H2	28提案型市民主役オープン	事業実施】不可能

年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)

年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

 H28 事業名
 交番・駐在所連絡協議会鯖江市連合会運営補助事業

事業コート

									1279
総	基本施策体系	基本目標	属性		基本			施策	
合計	11717	安全・安心で快適に暮らせ るまちづくり	防犯		防犯力を強化	する	地域防犯力の	強化	<u>3031</u>
総合計画体系	重点施策 体系								-
	部署名	防災危機管理課		開始年	~	終了年度	0000	7	
P	目的	行政や警察、関係機関と連携 の推進を図る。	もいて防犯活動を行う	団体の	舌動助成を通し	して、市民が5	安全で安心な着	らしができる	まちづくり
-LAZ(計画)	概要	①市内の交番や駐在所の防¾ 施	2活動協力、②夜間 5	ライトア	ップ作戦を推選	進し、夜間パ	トロールの実施	i、③防犯パト	ロールの実
	法令 根拠								
	実施形態	現在 補助金等交付	合会に補助金を交付						
	活動指標								
		指標名	単位	年度	H24(2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28 (2016)
	※設定困	推		目標値					
				実績値					
	成果指標		-						
		指標名	単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28 (2016)
	連絡会の	開催	囯	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	10	9	6	5	
(計算 交番 根拠 在所	ト駐在所連絡協議会連合会は市民≀ fの連絡体制を確立させることを↓	と警察、交番および駐 目的としているため。	達成率 (%)	200	180	120	100	
00(実施)				ランク	Α	Α	Α	Α	
				実数値					
	タイプ 経費			業臨	規職員 (時·嘱託 所要時間	0. 002			
				1	【 単	位:千円】	L+ 51 A 65 5 7'		
	事 区分			H28(2016) H2 180	9(2017)	補助金等名称		
	事業 予算額 決算額		80 180 80 180		100				

	必要	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 ある	市民の生命と生活を守るために、防犯活動を継続的に行っている団体に助成する 必要がある。 拠
	要性	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 はい	独自の財源を持ち、市民の生命と生活を守るために防犯活動をしているが、団体 の円滑な運営のために、市が補助金を支出することは、ある程度必要である。 拠
		【競合】 国、県、または民間のサービスと競合している事業はないですか。	主体 【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。
CI		ない	根 拠
OTMOK(點個)	効率·効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。	所管課 【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。
評価)		ない	根拠
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 ない	補助金交付申請を受け付け、検査検収を行い、支出するという事務のみであり、 根 補助金以外は予算化されていない。 拠
	有効	【財源確保】 今以上に、財源を確保する方法はありますか。 なし	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。 根 拠
	性	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 ない	補助金の交付目的に沿って適正に活動されている。 根 拠
	[3	平成28年度 取組み】	維持 【平成29年度 方向性】 維持
ACHIOZ	平成28年度取組み	t నం క్రామం క్రామం	連携を図り、犯罪の予防とに対し補助金を交付す を図り、市民の安全を守ることに対し補助金を交付する。
	(H:		事業実施】

年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

H28 事業名 防犯隊活動事務事業

事業コード

										1281
443	基本施	策 基本目標	票	属性		基本	施策	実施	施策	1
総合計	体系	安全・安心で快i るまちづくり	適に暮らせ 防剤	Œ		防犯力を強化	する	地域防犯力⊄	強化	<u>3031</u>
総合計画体系	重点施筑体系									
	部署名	防災危機管理	里課		開始年	度 ()	終了年度	9999		
P	目的	行政や警察、関係 安心な暮らしがで	系機関と連携しています。 できるまちづく	て防犯活動を行 りの推進を図る。	う防犯隊か ・	が、自分たちの	の町は自分たり	ちで守るという	考えから、市	「民が安全で 「
.LAZ(計画	概要	青色回転灯車両に 員規律保持を行う		ロールや防犯啓	発活動・行	F方不明者の打 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	捜索および県[方犯隊連合会研	肝修会への参加	1等による隊
	法令 根拠									
	実施形態	現在 市直営 防犯隊の専務 内 容		運営事務を行う	0					
		F								
	活動指標									
		たまた。 指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28(2016)
				単位	目標値	1	1	1	1	H28(2016)
		たまた。 指標名								
		指標名の活動広報			目標値	1	1	1	1	
	防犯隊の成果指標	票 指標名 の活動広報 票 指標名	**************************************	単位	実績値	1 1 H24(2012)	1 1 H25(2013)	1 1 H26(2014)	1 1 H27(2015)	1 H28(2016)
	防犯隊の成果指標	指標名の活動広報 指標名 がおります。 指標名 目の充足率(条例定き	数202人(H25か	単位	目標値 実績値 年度 目標値	1 1 H24(2012)	1 1 H25(2013)	1 1 H26(2014) 100	1 1 H27(2015) 100	1
00	成果指標防犯隊(150人)	下である。		回 単位 らは %	目標値 実績値 年度 目標値 実績値	1 1 1 H24(2012) 100 99	1 1 1 100 81. 3	1 1 1 100 98. 7	1 1 1 H27(2015) 100 94. 1	1 H28(2016)
0	防犯隊(成果指標 防犯隊) 150人)	指標名の活動広報 指標名 がおります。 指標名 目の充足率(条例定き	ロールが有効で	回 単位 らは % あり、防犯パト	目標値 実績値 年度 目標値 実績値 達成率 (%)	1 1 1 H24(2012) 100 99 99	1 1 1 125(2013) 100 81. 3 81. 3	1 1 1 100 98. 7 98. 7	1 1 1 H27(2015) 100 94. 1 94. 1	1 H28(2016)
	防犯隊(成果指標 防犯隊) 150人)	事 指標名 の活動広報 事 指標名 の活動広報 事 指標名 員の充足率(条例定3)	ロールが有効で	回 単位 らは % あり、防犯パト	目標値 実績値 年度 目標値 実績値 達成率	1 1 1 H24(2012) 100 99	1 1 1 100 81. 3	1 1 1 100 98. 7	1 1 1 H27(2015) 100 94. 1	1 H28(2016)
0	成果指標	精標名 の活動広報 指標名 の活動広報 指標名 真の充足率(条例定) 正罪の抑止には防犯パト コールを継続するには人 サート は関連を対しては、 は大 は大 は大 は大 は大 は大 は大 は大 は大	ロールが有効で	回 単位 らは % あり、防犯パト	目標値 実績値 年度 目標値 実績値 実数値 ランク 実数値 エ氏監に ※ 要員 H28(2	1 1 1 100 99 99 A 200/202 見職員 寺・嘱託 万要時間	1 1 100 81.3 81.3 81.3 81.3 6 122/150 0.01 0	1 1 1 100 98. 7 98. 7 A	1 1 1 1 100 94. 1 94. 1 B	1 H28(2016)

	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分にありますか。 ある 【行政関与】 行政が実施すべき事業で	根拠	専務化した防犯隊が地域住民の防犯に対する意識向上を図るとともに「地域の安全は地域で守る」ことを目標に安全で安心なまちづくりの活動を推進する。 防犯隊を専務化させ「地域の安全は地域で守る」ことを目標に安心安全のまちづくりの活動を推進する。
		すか。	主体 事第	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 よけば形なする。
CTECK(評価		ない 【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。	根拠所事	ある場合、当該事業の統 ※会は可能ですが
(評価)	果	ない 【コスト削減】 今以上に、コストを削減す	根拠根	防犯隊員の増加を目指しておりコストを削減させる余地はない。
	有効性	る余地はありますか。 「ない」 【財源確保】 今以上に、財源を確保する方法はありますか。	拠根拠	国・県等からの補助金制度もなく、受益者負担金を徴すべき事業ではないため。
		【成果向上】 今以上に、成果を向上させる余地はありますか。 ある	根拠	市民の「地域の安全は地域で守る」という精神の中で自主的な活動を期待するものであり、成果は向上させる余地はある。
	[3	平成28年度 取組み】		維持 【平成29年度 方向性】 維持
ACHIOZ	平成28年度取組み	保に努める。また、地域との 識の啓発・高揚を図るととも で守る」ことを目標に安全で を推進する。	(:)件]	7.世たたの生合体 知かれは杏(は知教春)な地准し 7.世たたの生合体

【H28提案型市民主役オープン事業実施】

不可能

年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
取組選	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状態	兄 未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

事	128 業名	方犯隊活動助成事	業								事業コード
											3164
総	基本施策 体系		H.S S. H.L.V.	属性		HING C	基本施			施策	
総合計画体系		安全・安心で快適に暮るまちづくり	安全・安心で快適に暮らせ 防犯 るまちづくり			防犯力を強化する		地域防犯力の強化		3031	
闦	重点施策	重点施策			分類(分類(大)			分類(小)		<u></u>
体系	体系	「人の増えるまち」つ	づくり	安心して生 の充実	み育てら	かれる子	育て環境	竟 安全・安	心		7
				V)/L)							811
	部署名	防災危機管理課			開始年		2014	終了年度	0000		
	目的	防犯隊の防犯活動を充	実させるこ	とにより、犯罪	『『『『『『『『『』	方止を図	り、地場	或の安全安心	いを確保する。		
P	概要	防犯隊の各地区支隊が	、各地区に	おいて地域の実	実情に合 れ	つせ独自	に行う	坊犯活動に対	けし助成を行う	0	
42(計画)											
<u>;</u>											
画	:± Δ										
	法令 根拠										
	実施形態	現在 補助金等交付									
	112163	防犯隊の各地区支隊が行う防犯活動に対し助成を行う。 内									
		容									
	活動指標										
	70 30 10 15	指標名		単位	年度	H24(2	012)	H25(2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28(2016)
	防犯隊支隊長以上の幹部会の実施			囯	目標値				5	5	5
				実績値				8	6		
	成果指標			-							
		指標名		単位	年度	H24(2	012)	H25(2013)	H26 (2014)	H27(2015)	H28(2016)
	防犯隊地	区支隊の独自活動の平均	习值	囯	目標値				3	3	3
	社会				実績値				3	4	
00(実施	計算根拠				達成率 (%) ランク				100	133. 3	
					実数値				A 3/3	A 4/3	
		48.6.71			_				0/ 0	4/ 0	
	ター会計事業	一般会計 タイプ 単独事業			事に対策に	^{見職貝} 寺•嘱託	0	. 1			
	プ経費					· 要時間		0			
								<u>立∶千円】</u>			
	事業予算額		6(2014)	H27 (2015)	H28(2	2 <mark>016)</mark> 600	H29 ((2017)	補助金等名称		
	費		300	600		000		 			

	必	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 ある	市民の安全安心に対する関心は大きい根拠						
	要性	すか。はい	市民の生命財産を守ることは行政の責務である 根 拠						
		【競合】 国、県、または民間のサービスと競合している事業はないですか。	主体 【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃止は可能ですか。						
C		ない	根拠						
エMOK(評価	効率·効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。	所管課 【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。						
<u>讲</u>		ない	根拠						
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 ない	活動に対しての経費であるため削減の余地はない。 根 拠						
	有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保する方法はありますか。 なし	防犯に対する補助事業はない。 根 拠						
		【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 ある	パトロールや高齢者や子どもに対する啓発事業を充実を図る。 根 拠						
	[:	平成28年度 取組み】	維持 【平成29年度 方向性】 維持						
ACHION	平成28年度取組み	地域の防犯隊の積極的な活動化を図り、市民の安全安心に	地域の防犯隊の積極的な活動を推進し、防犯体制の強 タめる。						
	[H	28提案型市民主役オープン	事業実施】 不可能						
	(1120)提末至印以工以								

H27事業名 防犯隊活動助成事業

取組選択

実施状況

不可能

未実施

不可能

未実施

不可能

未実施

不可能

未実施

不可能

未実施

不可能

通学路防犯灯整備事業 事業コード 3059 基本施策 体系 基本目標 属性 基本施策 実施施策 総合計画体系 安全・安心で快適に暮らせ るまちづくり 防犯力を強化する 地域防犯力の強化 <u>3031</u> 重点施策 体系 部署名 開始年度 終了年度 2012 9999 十木課 目的 農用地内など家屋が途切れた夜間に暗く危険な通学路に、LED防犯灯を設置し通学生の安全確保を図る。 PLAZ 農用地内など電気料の負担問題等により、防犯灯が設置されておらず夜間危険な通学路において、交通事故の防止や安全で 円滑な通行の確保のために、交差点など必要な箇所にLED防犯灯を設置する。 概要 (計 計 画 民間等委託 (一部) 工事は業者に発注する。 活動指標 指標名 単位 年度 H24(2012) H25(2013) H26(2014) H27(2015) H28(2016) ※設定困難 目標値 実績値 成果指標 指標名 単位 年度 H24(2012) H25(2013) H26(2014) H27(2015) H28(2016) 実施箇所/必要箇所 目標値 100 実績値 100 100 100 100 00(実施 計算根拠 達成率 100 100 100 100 (%) ランク Α Α Α Α 実数値 事工規職員業 ·般会計 会計 タイプ 事業タイプ 臨時·嘱託 単独事業 経費区分 ※所要時間 物件費 20

【単位:千円】

H29(2017)

補助金等名称

区分

予算額

決算額

H25(2013)

3, 192

3, 192

H26 (2014)

2,000

1,636

H27(2015)

890

890

H28(2016)

	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。	通学路の安全面に関する要望は多い。 根 拠
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 はい	交差点などの交通事故防止や、歩行者等の夜間の安全かつ円滑な通行のために必要性の高い箇所についての道路照明整備は、行政が実施すべき事業である。 拠
		【競合】 国、県、または民間のサービスと競合している事業はないですか。	主体 各地区自治会等 【廃止可能性】 事業名 集落内の防犯灯設置 本は可能ですか。 不可能 不可能
CH		ある	根拠
CTMCK(評価	効率·効果	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 ある	所管課 市民協働課
評価)			根拠
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 ない	積算基準に基づいている。 根 拠
	有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保する方法はありますか。 なし	補助金を活用する事業である。 根拠
		【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 ある	予算内で重点箇所から整備していく。 根 拠
	[2	平成28年度 取組み】	維持 【平成29年度 方向性】 維持
40H-OZ	平成28年度取組み		
	み		

年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	